

計画事業番号	00420	事務事業名	森林保全活用事業	担当部署	建設部都市整備課	電話	4225
--------	-------	-------	----------	------	----------	----	------

## 【基本情報】

事務区分	■自治事務 □法定受託事務	根拠法令等	森林・林業基本法第6条、第9条 森林法第10条の5、第10条の7				
事務事業開始年度	平成11年度	個別計画等	北広島市森林施業計画				
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	補助	新規継続区分	継続

## 【事業概要】

1 総合計画体系	(第 3 章) 美しい環境にまつまれた安全なまち (第 3 節) 水と緑の空間の充実 (施策 1 ) 緑化の推進
2 対象	
3 目的と内容	仁別、三島地区の水源かん養保安林(566ha)の林野火災への対応や森林管理を行うため、三別沢林道を補修し、森林の保全に努める(主体:北海道)。 その他の市有林については、生活環境の保全や山地災害防止など森林が持つ多面的機能が十分発揮できるよう、森林施業計画に基づく除伐や下刈りなどを実施するとともに、森林ボランティアなど市民との協働により森林整備を推進する。
4 実施内容(手段)	2 8 年度 まで (1)三別沢林道改良工事(負担金) L=1,490m (2)北広島団地周辺緑地の樹木整備 A=7.53ha (3)仁別市有林の樹木整備 A=5.76ha (4)富ヶ岡市有林の下草刈り A=1.59ha (5)森林ボランティア等に対する森林整備活動支援 (6)市有林の巡視
	2 9 年度 (1)三別沢林道改良工事(負担金) L=789.5m (2)仁別市有林の樹木整備 A=5.76ha (3)富ヶ岡市有林の下草刈り A=1.59ha (4)森林ボランティア等に対する森林整備活動支援 (5)市有林の巡視

## 【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画	計画
三別沢林道改良工事 L=489.5m 仁別市有林樹木管理委託 A=5.20ha 富ヶ岡市有林下草刈委託 A=1.59ha 管理道路修繕 L=100m 森林ボランティア等による 森林整備活動支援等	三別沢林道改良工事 L=489.5m 仁別市有林樹木管理委託 A=5.20ha 富ヶ岡市有林下草刈委託 A=1.59ha 管理道路修繕 L=100m 森林ボランティア等による 森林整備活動支援等	三別沢林道改良工事 L=789.5m 北広島団地周辺緑地樹 木管理委託 A=7.02ha 富ヶ岡市有林下草刈委 託 A=1.59ha 森林ボランティア等による 森林整備活動支援等	三別沢林道改良工事 L=789.5m 北広島団地周辺緑地樹 木管理委託 A=7.02ha 富ヶ岡市有林下草刈委 託 A=1.59ha 森林ボランティア等による 森林整備活動支援等	北広島団地周辺緑地樹 木管理委託 A=4.26ha 富ヶ岡市有林下草刈委 託 A=1.59ha 森林ボランティア等による 森林整備活動支援等	北広島団地周辺緑地樹 木管理委託 A=4.26ha 富ヶ岡市有林下草刈委 託 A=1.59ha 森林ボランティア等による 森林整備活動支援等	市有林樹木管理委託 A=5.00ha 富ヶ岡市有林下草刈委 託 A=1.59ha 森林ボランティア等による 森林整備活動支援等	市有林樹木管理委託 A=5.00ha 富ヶ岡市有林下草刈委 託 A=1.59ha 森林ボランティア等による 森林整備活動支援等

## 【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性		評価区分
前年度 2次評価	現状継続	現状継続とする。		「拡大」 「現状継続」 「要検討」 「見直し」 「統合」 「休止・廃止」 「終了」
1次評価	現状継続	森林保全については、森林の持つ多面的・公益的な機能が確保されるように、今後も市有林の保全・整備を森林施業計画に基づき進める。		
2次評価	現状継続	現状継続とする。		

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
決算額、当初予算額又は推進計画額			8,991		13,038		2,198		4,025	
事業額	直接事業費	国支出金	0		0		0		0	
		道支出金	1,102		1,023		661		2,192	
		地方債	6,000		9,000		0		0	
		その他特財	5		2		2		2	
		一般財源	1,884		3,013		1,535		1,831	
	① 合計	8,991		13,038		2,198		4,025		
人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	0.60	0.00	0.60	0.00	0.60	0.00	0.60	0.00	
	③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	
	④ =②×③	5,040	0	5,040	0	5,040	0	5,040	0	
総事業費①+④			14,031		18,078		7,238		9,065	

【評価指標】

指標名			単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
活動指標	① 仁別・三島市有林 植栽箇所の保有面積	目標値	ha	34.86	34.86	34.86	34.86
		実績値		34.86			
	② 市有林整備	目標値	ha	5.76	1.4		
		実績値		5.76			
③ 市民ボランティア等による整備	目標値	ha	2	2			
	実績値		2				
④ 三別沢林道改良工事	目標値	m	489.5	789.5			
	実績値		489.5				
成果指標	① 三別沢林道改良工事進捗率	目標値	%	100.0	100.0		
		実績値		88.3			
	② 【指標の定義(算式等)】	目標値					
		実績値					
③ 【指標の定義(算式等)】	目標値						
	実績値						

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか？ ・上位の施策への貢献度は大きいですか？ ・特定の団体の利益に偏っていませんか？ 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	森林の持つ多面的、公益的な機能を発揮するため必要な事業である。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか？ 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	仁別・三島地区の保安林については、北海道による治山事業実施箇所の維持管理や三別沢林道改良工事の実施により整備が進んでいる。その他の市有林については、森林ボランティア等による整備を実施しているため、計画どおり成果があがっている。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	3	緑豊かな自然環境を保全するために必要な事業を実施している。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	治山事業は道営のため、市の財政的負担はなく、市が加盟する北海道治山協会負担金(市農政課加入)のみの支出である。(事業費の2.3/1000、限度額700千円) その他は、ボランティアの活動を支えるための最低限の予算であり、費用対効果は十分と言える。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
------------------------	------------------------------------	---

【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。 <input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。
-----------------------------	--